

地域・在宅看護論 特別講演



当校では、令和5年度より、地域・在宅看護論の学習の一環として、地域で療養されている方とそのご家族様をお迎えして、特別講演会を行っています。

今年度は「療養者・家族のその人らしい暮らしを考える」をテーマに、筋萎縮性側索硬化症で療養されている方を支えているご家族様と、脊髄損傷で療養されるご本人様とご家族様から、実際の療養生活の様子や、発症・受傷から現在の気持ち、地域社会とのつながり等ご講演いただきました。

さまざまな困難なことがありながらも、ご家族で話し合い、支え合いながら暮らしてこられたことを学ばせていただきました。



また、ご講演いただいた方から共通してきかれたことばは、療養を支えるご家族様や医療・介護スタッフへの「感謝」でした。学生は、その感謝に応えられる看護を提供できる看護師を目指したいと気持ちを引き締めていました。貴重なご講演をありがとうございました。

(ひまわりは日本 ALS 協会新潟支部機関誌の誌名より使わせていただきました)

令和6年12月